

2018年5月7日

株式会社三菱UFJ銀行

グローバルオペレーションセンターの設立について

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 ^{みけ かねつぐ}三毛 兼承、以下当行）は、2018年5月3日付で、フィリピン共和国（以下、フィリピン）にグローバルオペレーションセンター（以下、GSOC）を設立いたしました。

1. センター設立の目的

三菱UFJ銀行は、海外拠点事務のより一層の生産性向上およびトランザクションバンキングビジネスの強化等を支える効率的な事務基盤の整備・構築を目的として、2015年4月よりアジア域内における事務集中化構想の予備検討を開始し、その翌年には社内に専担組織を設置するなど、GSOCの設立に向けて準備を進めてまいりました。

フィリピンは、人口約1億人とASEANの中でインドネシアに次ぐ人口大国です。高い英語能力を持つ人材が豊富であることから、近年では、企業の業務プロセスを外部に委託するBPO（Business Process Outsourcing）産業が発展しており、多くの外国企業がオペレーションセンターを設置しています。

GSOCの設立によるアジア域内の事務の標準化および事務品質の向上により、強固な事務基盤を築くとともに、アジア域内における営業拠点の業務推進余力の捻出を図り、今まで以上にお客さまの多様なニーズにお応えできるよう努めてまいります。

2. センターの概要

名称	グローバルオペレーションセンター [英文表記] Global Services Operations Center
所在地	19th Floor, 6788 Ayala Avenue 1226 Makati City (当行マニラ支店と同じビルに所在)
業務開始予定時期	2018年8月20日
事務集中の対象拠点 (事務集中予定時期)	シンガポール（2018年8月）、シドニー、オークランド（2019年2月）、台北（2019年5月）から開始し、順次、対象拠点を拡大予定
対象業務	外国送金、市場事務、コーポレート業務を第一陣の対象とし、順次拡大予定
従業員人数	約50名（開業時）

以上